



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日  
上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社  
コード番号 4022 URL <https://www.rasa.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂尾 耕作  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 常務執行役員 (氏名) 望月 哲夫 TEL 03-3258-1835  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,380	△14.3	650	△53.3	665	△55.8	545	△46.1
2023年3月期第1四半期	12,110	55.4	1,392	85.8	1,507	91.1	1,011	93.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 602百万円 (△50.4%) 2023年3月期第1四半期 1,215百万円 (75.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	68.90	—
2023年3月期第1四半期	127.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	47,009	23,203	49.1
2023年3月期	47,552	23,252	48.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 23,072百万円 2023年3月期 23,125百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	82.00	82.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	41.00	—	41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	22,800	△9.5	1,500	△42.9	1,500	△45.5	1,150	△37.2	145.33
通期	48,400	△2.4	3,600	△22.1	3,600	△23.2	2,600	△19.6	328.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	7,944,203株	2023年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	31,088株	2023年3月期	30,972株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	7,913,151株	2023年3月期1Q	7,919,701株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに伴う行動制限の解除により社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復に向かいました。一方で、ウクライナ情勢の長期化などによるエネルギー価格や原材料価格の高騰によるインフレ、為替相場の変動、更に、世界的な半導体市場の悪化も加わり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、中期経営計画2023の最終年度を迎え、引き続き「次世代への変化に対応した事業戦略の推進と将来に向けた事業基盤の更なる強化」を基本方針とした、既存事業の強化・領域拡大やグローバル市場への対応強化、新規事業の探索・育成などの事業戦略を推進していくとともに、これら事業戦略を支える基盤整備として、DXやESGの取り組みや人材戦略にも注力し、収益力の向上と持続的成長に向けた新規事業の育成などの経営課題の解決に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、103億80百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益6億50百万円（前年同期比53.3%減）、経常利益6億65百万円（前年同期比55.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5億45百万円（前年同期比46.1%減）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ① 化成事業

燐酸などの燐系製品につきましては、半導体向け高純度品が半導体市況の悪化を受け、販売数量の減少により大幅な減収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、上水道向け製品は増収となりましたが、電子部品のエッチング用途向けが減収となりました。

コンデンサー向け原料は、調整局面の継続による販売数量の減少により大幅な減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、87億89百万円（前年同期比16.3%減）、セグメント利益は、6億35百万円（前年同期比53.5%減）となりました。

#### ② 機械事業

建設機械につきましては、破碎機、選別機等の本体販売、消耗部品が減収、プラント販売も減収となりました。精密機械加工は、ほぼ前年並みに推移しました。

下水道関連向け掘進機の土木機械につきましては、レンタル物件が減収となりましたが、本体販売が国内外で大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、10億24百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は、79百万円（前年同期比295.7%増）となりました。

#### ③ 電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、赤燐は前年の事故影響が解消されたため、増収となりました。ガリウム、インジウム等は半導体市況の悪化を受け、販売数量の減少により大幅な減収となりました。タッチパネル等に用いられる塗布剤は、テレワーク関連特需の終息により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、3億円（前年同期比28.7%減）、セグメント利益は、53百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

#### ④ その他

石油精製用触媒の再生事業は、減収となりました。不動産の賃貸は、ほぼ前年並みに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、2億65百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は、1億75百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて9億20百万円減少し、246億44百万円となりました。この主な増減理由としては、受取手形及び売掛金が7億19百万円減少、流動資産その他（主に未収入金）が3億75百万円減少した一方、棚卸資産が2億71百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて3億76百万円増加したことにより、223億64百万円となりました。この主な増減理由としては、投資有価証券の増加4億82百万円などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4億94百万円減少し、238億5百万円となりました。この主な増減理由としては、長期借入金が5億29百万円減少、支払手形及び買掛金が4億21百万円減少した一方、流動負債その他（主に前受金）が3億28百万円増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を5億45百万円計上した一方、配当金の支払により6億48百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて48百万円減少し232億3百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は470億9百万円となり、自己資本比率は49.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,940	4,844
受取手形及び売掛金	11,303	10,583
商品及び製品	3,827	3,759
仕掛品	1,372	1,688
原材料及び貯蔵品	3,165	3,188
その他	957	581
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,564	24,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,097	4,025
機械装置及び運搬具(純額)	4,682	4,556
工具、器具及び備品(純額)	901	878
土地	6,879	6,879
建設仮勘定	1,234	1,233
その他(純額)	96	91
有形固定資産合計	17,893	17,665
無形固定資産	40	54
投資その他の資産		
投資有価証券	2,736	3,219
その他	1,322	1,431
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	4,053	4,645
固定資産合計	21,987	22,364
資産合計	47,552	47,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,524	5,103
短期借入金	7,147	7,150
未払法人税等	730	627
賞与引当金	460	690
その他	1,874	2,202
流動負債合計	15,737	15,773
固定負債		
長期借入金	5,021	4,491
退職給付に係る負債	3,165	3,168
その他	376	372
固定負債合計	8,563	8,032
負債合計	24,300	23,805
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	14,199	14,096
自己株式	△59	△59
株主資本合計	22,583	22,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	89
繰延ヘッジ損益	10	16
為替換算調整勘定	743	840
退職給付に係る調整累計額	△366	△352
その他の包括利益累計額合計	542	592
非支配株主持分	126	131
純資産合計	23,252	23,203
負債純資産合計	47,552	47,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	12,110	10,380
売上原価	9,547	8,553
売上総利益	2,562	1,827
販売費及び一般管理費	1,169	1,176
営業利益	1,392	650
営業外収益		
受取配当金	21	42
受取地代家賃	6	7
為替差益	41	46
その他	125	18
営業外収益合計	195	115
営業外費用		
支払利息	44	49
休止鉱山鉱害対策費用	23	31
その他	12	19
営業外費用合計	80	100
経常利益	1,507	665
特別利益		
受取保険金	—	137
特別利益合計	—	137
特別損失		
災害による損失	29	—
特別損失合計	29	—
税金等調整前四半期純利益	1,477	803
法人税、住民税及び事業税	461	340
法人税等調整額	△4	△85
法人税等合計	457	254
四半期純利益	1,020	548
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,011	545



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,020	548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△65
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	122	146
退職給付に係る調整額	13	13
持分法適用会社に対する持分相当額	58	△45
その他の包括利益合計	194	54
四半期包括利益	1,215	602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,202	595
非支配株主に係る四半期包括利益	12	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	10,499	898	421	11,820	289	12,110	—	12,110
外部顧客への売上高	10,499	898	421	11,820	289	12,110	—	12,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	—	3	8	12	△12	—
計	10,503	898	421	11,824	297	12,122	△12	12,110
セグメント利益	1,366	20	120	1,506	169	1,676	△283	1,392

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△283百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△284百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	8,789	1,024	300	10,115	265	10,380	—	10,380
外部顧客への売上高	8,789	1,024	300	10,115	265	10,380	—	10,380
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	—	3	8	11	△11	—
計	8,793	1,024	300	10,118	273	10,392	△11	10,380
セグメント利益	635	79	53	769	175	944	△293	650

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△293百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△293百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。